

真備地区復興懇談会 の開催結果について

真備地区復興懇談会の開催



- 真備地区の復興に向けて、今年3月に改定した「真備地区復興計画」の復旧・復興の取組状況等を説明し、住民の皆様からご意見をお伺いするために開催

日	時	開催場所	参加人数
9月23日(土)	14時～16時	真備保健福祉会館	約50人



【方針1】 経験を活かした災害に強いまちづくり

- ・ 河川敷の継続的な管理・樹林化防止をしてほしい
- ・ 小田川堤防拡幅工事で未施工箇所（樋門周辺等）はいつ施工するのか
- ・ 笠井堰の可動堰化計画を教えてください
- ・ 小学校や中学校で始めた防災教育の成果を教えてください
- ・ 災害の伝承が基本。小・中学校での防災教育も教員だけでは難しい
- ・ 地元も一緒になって教育していくことが大事だと思う
- ・ 県と市で広域避難の計画を策定してほしい
- ・ 流域治水について、行政はもっと広報して住民に周知してほしい



2

真備地区復興懇談会での主なご意見

【方針2】 みんなで住み続けられるまちづくり

- ・ 河川工事の影響でゴミステーションが廃止・統合され不便になっている地域がある。地域へのヒアリングや援助をしてほしい
- ・ コミュニティタクシーの路線変更の検討状況を教えてください

【方針4】 地域資源の魅力を伸ばすまちづくり

- ・ まびふれあい公園の開園を楽しみにしているが、建屋と広場しかないため、例えば直売所を設けるなど、民間へ開放できないか
- ・ まびふれあい公園の詳しい説明会（設備・運用等）を開催してほしい

【方針5】 支え合いと協働によるまちづくり

- ・ 災害時にいかに自分たちで助け合うか、自分たちに出来ることをみんなで考えていきたい
- ・ 懇談会は、形は変わっても継続して開催してほしい
- ・ 5年間まちづくり活動に支援していただき感謝している。災害時の反省のもと、地域では、ハード・ソフト両面の取組を進めている
- ・ 5年間での復興は目をみはるものがある。今後は真備を知ってもらうPRが必要

3